

「ライン河畔より」

「あなたは生まれ故郷 父の家を離れて わたしが示す地に行きなさい。」

創世記12章1節

ホームページ <http://www.ryokosasaki-missionary.com> フェイスブック <https://www.facebook.com/koelnbonnjp>



ご挨拶 Guten Tag!



主の聖名を賛美いたします。昨年から引き続き、皆さまの尊いお祈りとお支えを心からありがとうございます。寒さの中にあっても少しずつ陽が長くなり、小鳥のさえずりも耳にするようになりましたが、如何お過ごしでしょうか。私は初めての冬を過ごしましたが、「厳寒のドイツ」の一言に尽きます。毎日スキー場にいるような感じで、もうこれ以上重ねようがないほど着こみダルマ状態です。赴任してからないものねだりをしたことはありませんでしたが、私の住まいはシャワーだけなので「お風呂で温まりたい!!」と、初めて思いました。在住歴長い方は、「この空気の冷たさが気持ちいい」と仰います。私はいつになったらそのように言えるのでしょうか。

待ち侘びる春の到来と共に遣わされてから1年を迎えようとしています。多くの方々の助けによって、貴重な経験をさせて頂き、様々なことを感じて考える時でもありました。春から夏にかけては無我夢中で走り抜き、秋冬は葛藤の季節でした。現在進行形でもあります…。これまで日曜日毎に、重責を担ってくださる支える会の会計担当の方から、献金の報告を頂いています。献金リストに挙げられているお名前を見る度に、皆さまのお顔が浮かび感謝の祈りを捧げています。同時に、日本の教会も大変にも拘わらず、このように大勢の方々が心を寄せて頂き、多大な犠牲を払ってくださっていることへのプレッシャーを感じています。皆さまに助けを頂けなければ、この地で牧師として立っていけないことを重々承知の上で遣わされてきましたが、いざ現実となると何とも言えない、大きなものを常に背負っているという感じです。このような思いをどのように受け止め、向き合っていくのかと暗中模索状態です。このことを心の片隅に覚えて頂き、お祈りくださると幸いです。

さて、このニュースレターが皆さまのお手元に届けられる頃、私は宣教報告のために日本に一時帰国中だと思います。全ての方にお会いしたいのですが、限られた時間でお伺いできない皆さまに、紙面をお借りして感謝申し上げます。

これからも皆さまの上に主の大いなる恵みが豊かにありますように、お祈りいたします。

Viel Glück

新しい風

ケルン・ボン日本語キリスト教会役員・シュミット亜弥子 姉

皆様の心からのお支えありがとうございます。

佐々木先生も無事に新しい年2017年を迎えられました。先生はドイツの生活にも慣れてあちこち一人歩きも大丈夫で私は安心しています。まーいいやではなく品物の返品もしっかり交渉出来る勇気もある先生です。

ケルン・ボン教会では、遠くから来られる方々もいるので、今まで祈りの会を持つ事が難しかったのですが、佐々木先生が月一回礼拝後すぐに輪になって短い祈りの会を始めて下さいました。ドイツ人の方も居られますが、その方達はドイツ語で祈って下さいます。そう言えばドイツ州教会では定期的な祈りの会を聞いた事がなく、話では昔はあったとか。

牧師館では月二回、聖書を学ぶ会をしています。たっぷり二時間の時を聖書について、また色々脱線しながら聞きたい事を先生に答えてもらっています。ここでも各自が課題を持って祈っています。

私の自宅では、20年近く月一回の家庭集会をしています。主に私と同年代のおばちゃん達で10名位。次の寄り合いはいつと聞かれることもあります。殆どノンクリスチャンの方達ですが、楽しみに集まって下さいます。11時から始まって賛美歌、聖書の話、お昼にはパンを食べながらおしゃべり。最近仲間の方が亡くなったので、死についても話しました。皆さんが死後の世界をどう思い、考えているのかに私は興味をもっています。この集会の方達は、バザーの時には大活躍をして下さいます。ある時佐々木先生がメールで、小豆が上手に煮えるようにお祈りくださいとあったのには私はビックリ、このようなことにも祈るのかと。祈りの佐々木先生です。新しい風を教会に吹かせて下さいます。

最後に皆様のご健康とご活躍を祈りながら。



これまでの主な歩み

★エキュメニカルサタデー 9月17日 デュッセルドルフ ヨハネス教会



隣町のデュッセルドルフの国教会から10:00～16:00 迄、日本に関する紹介の提案を頂きました。心を寄せてくださることは感謝でしたが、プログラム作りに頭を抱えました。主日礼拝後毎に、教会員の方々と話し合いの場を持つ内に、少しずつ話が進み①日本の讃美歌「どんなときも」の紹介を中心とした礼拝 ②にわか聖歌隊 ③DVDによる日本のキリスト教の歴史の紹介 ④日本文化の紹介・短冊作り、折り紙 ⑤ミニバザー等の催しを行うことができました。一人の力は小さいですが教会員が一つ心になった時に、大きな力になることを体験することができ、貴重な時となりました。

★キリスト伝道会応援隊 10月5～12日

私たちの教会を励ますために牧師先生・信徒の方々4名がいらしてくださり、9日の聖日には特別集会として、メッセージとオルガン演奏をして頂きました。いつも教会においでになれない方々も集い幸いな時となりました。感謝の気持ちとして教会員全員で賛美のプレゼントをさせて頂きました。勿論、いらしてくださったことはとても嬉しく励まされましたが、教会員の方々が集会のために祈り、精一杯のおもてなしをして頂いたことも感謝でした。皆さまをお見送りした後、里心がつくかと思いましたが、私は既にこちらの人になっていたことを発見しました。



★バザー 11月1日 ボンヘッファー教会にて



毎年楽しみに待っていてくださるドイツ人で会場はいっぱいになります。日本の小物・本、手作りの日本食・和菓子・ケーキなどが並びました。総勢10数名の教会員だけでは到底不可能ですが、家庭集会に集っておられる方々や、バザーのためにご奉仕をしてくださる方々のご協力と助けによって、長年続けられています。このような大勢の方々の愛によって、貧しい私たちの教会でもドイツ教会関係の、世界の恵まれない子どもたちをサポートする団体に、沢山の売り上げ全てをお捧げできる恵みを頂いています。お手伝いくださっている方々が教会に繋がることができるよう、クリスマス会や年明けにはお鍋を囲む会などを企画して、交わりを持ち続けるようにしています。

★欧州教職研修会 11月7日～10日 ドイツ・バードリーベンゼラーミッション研修保養施設にて

「チームでやろう欧州牧会」のテーマのもとにイギリス、ルーマニア、フィンランド、イタリア、ドイツの各地から約20名が集まりました。年に一度開催され、学びと共に「仲間」がいることの幸いを感じた3日間でした。現在は1ヶ月に一度の割合でスカイプで情報交換し、祈り合い励まされています。1月は12名の参加でした。

★子どもと一緒にクリスマス 12月11日



これまでCSは休止状態だったので何とかしたいと思ってましたが、クリスマスを機にやっと一歩踏み出すことができました。

教会員の方々のお子さんやお孫さん、外部から一家族が集って下さいました。メッセージ、賛美、ゲーム、お友だちのヴァイオリン演奏、手品、ミニ祝会と楽しい時となりました。

中学生のお姉さんのアシスタントは頼りになりました。



★クリスマス礼拝・祝会 12月17日 新年祝会 1月8日



ドイツ人のご家族や教会員のお知合いの方々が大量にいらしてくださり、賑やかになりました。日本語教会といえども、やはりドイツにある教会ですから、身近な所から門戸を広げていくことも大切なことです。祝会は会堂をお借りしているドイツ教会の先生もいらしてくださり、教会の方々の心の籠った手作りの美味しいご馳走を囲み、インターナショナルな雰囲気の中でクリスマスをお祝いすることができました。新年もクリスマス同様に大量の方が集い、沢山ののおせち料理にみなさん大満足！教会の方々は美味しいご馳走を何気に作るのが上手です。日本食は世界一ですね！

★クリスマスイヴ礼拝 12月24日

牧師になって初めてメッセージのないイヴを経験しました。私たちはドイツ州の教会をお借りしていますから、独自のイヴ礼拝を持つことはできませんので、教会員は毎年各自が自宅近くの教会で礼拝を守ります。私はいつも会堂をお借りしているボンヘッファー教会に行きました。礼拝は至極シンプルで、クリスマスに関連する聖書箇所を教会員の方々が交互に拝読し、合間に短い説教が入り、賛美、オーボエの特別賛美で1時間ちょっとで終了です。ドイツ教会側のお心遣いにより祝祷をさせて頂き感謝でした。

ちょっとコーナー

クリスマス

10月下旬を迎えると陽が短くなって気温も下がり、日本の真冬のような季節が訪れますが、凡そ11月末～12月23日までドイツの各地でクリスマスマーケットが始まり街は一気に活気づきます。24日の午後～26日まではクリスマス休暇となり、商店や殆どのレストランも休業。主な交通機関の運行数がグッと減って、車もあまり走らず街はとても静かで閑散としていて日本のクリスマスとは真逆です。町の教会は、24～26日までクリスマスの礼拝が捧げられ、教会離れが著しいドイツですが、流石はキリスト教国！

罰金！？！？

交通機関の全ては、改札がなく自己責任で切符を買います。言い換えるなら稀に検札が来ますが、遭遇しなければ無賃乗車も可能ということになります。しかし、無賃乗車発覚の際は厳しく、60ユーロの罰金です。真面目な気質のドイツ人ですから殆どの人は、ちゃんと切符を購入します。

私は大抵自動販売機で購入しますが、ある時、安い特別なチケットを買うために窓口で購入しました。発音が悪かったのか、目的地よりもかなり手前の駅のチケットが発行されてましたが、確認せずそのまま往復しました。しかも普通切符では乗車できない特急にまで乗ってしまったのです。復路、検札が来ました。私は正規の切符をもっていると勘違いしてますから、悠然と切符提示の準備をしていましたが、私のボックスだけ通り過ぎていきました。アレアレ、と思いつつやがて駅に到着して、我が家へ戻りました。さて、帰宅して初めて私が一日使用していた切符は、無効なものであることに気が付き、血の気がひきました。しかも検札が横を通り過ぎていったのですから…神様は言葉の不自由な私を憐れんで、検札が過ぎ越すようにしてください、と感謝の祈りをささげました。お～～ハレルヤ！！！！



日本と大違いのお正月

1日だけが休日で2日からは仕事も始まり通常の生活です。勿論、おせちもありませんので正月気分などというものは皆無です。大晦日から日付が変わる夜中はドイツ中至る所でカウントダウンと共に、一斉に花火が1時間近く打ち上げられました。まるで爆弾が落ちていくような激しさでした。大晦日限定で販売されるプロ並みの花火を個人で庭や道路、公園で一斉に上げます。しかし、このために毎年怪我人が出るということで、命がけのカウントダウン花火です。

ドイツ語説教デビュー？

年に数回、外国人教会協議会があります。12月の開会説教の担当となり、日本語をドイツ語に翻訳して頂いたものを配布して見て頂くつもりでしたが、矢張り自分で読んだ方がよいと思い、意を決して猛練習し、たどたどしくても何とか読み終えることができました。私にとっては、かなりのハードルの高さで初めはつかかりながらドッと疲れましたが、だんだんと力を抜けるようになりました。長文を読むことは「無理！」と決めつけていましたが、無理なことに挑戦していくことが力と自信になることを肌で体験することができました。私のドイツでの生活は主の力とお支えにより、いつも限界を超えての飽くなき挑戦です。

2017年教会目標と祈りの課題

1. 教会員が更にイエス・キリストの温かな恵みを体験し、信仰が成長していけますように
2. 教会員のご家族や知り合いのドイツ人に、教会の門戸を広げていけますように
3. 子どもの礼拝の充実のために
4. ママたちの子育て学び会から教会に繋がっていけますように

～応えられたお祈り～

1. 新しい神の家族
 昨年の9月から既にクリスチャンの若いパパがドイツに赴任され教会にいらしてくださいました。ママと赤ちゃんは出産の関係から少し遅れて、クリスマス前に到着しましたが、その翌日から毎週欠かさことなくご家族全員で礼拝においでになっています。ママと赤ちゃんはイースターに洗礼を受けられる予定です。
2. 子どもたちの礼拝の復活
3. ママたちの子育て学び会のスタート
 ドイツに赴任する前から祈っていましたが、やっと神の 때가 やってきて5名からスタートできました

訪問させて頂く教会の予定 お招き頂きありがとうございます

2月28日	ジュッセルドルフ → → 成田着
3月1日	日本基督教団 清水ヶ丘教会祈禱会/報告会
3月2日	日本基督教団 東京新生教会聖書研究/祈禱会/報告会 日本基督教団 東京聖書学校吉川教会祈禱会/報告会
3月3日	日本基督教団 世界宣教部訪問/報告
3月5日	日本基督教団 井草教会礼拝説教/報告会 日本基督教団 小松川教会夕礼拝説教
3月6日	日本基督教団 東京教区東支区 教師委員会報告会
3月 7～8日	日本基督教団 京都復興教会祈禱会/報告会
3月9～10日	日本基督教団 喬木教会祈禱会/報告会
3月12日	日本基督教団 小松川教会礼拝説教/報告会
3月19日	日本基督教団 志木教会礼拝説教/報告会
3月21日	国際キリスト教団 代々木教会報告会
3月22日	日本基督教団 柏教会祈禱会/報告会
3月26日	日本基督教団 洗足教会礼拝/報告会
3月27日	日本基督教団 鹿島栄光教会訪問/報告
3月28日	日本基督教団 仙台青葉荘教会訪問/報告
3月30日	成田 → → ジュッセルドルフ

今後の予定

4月 2日	ドイツ教会合同礼拝 愛餐会
4月16日	イースター 洗礼式
5月24日～28日	キルヘンターク ドレスデン (ドイツプロテスタント教会大会)
6月 4日	ペンテコステ礼拝 日独語礼拝 祝会
6月11日	野外礼拝 広島長崎記念公園
7月 9日	ドイツ教会合同礼拝 教会前通りの祭り
8月 3日～6日	欧州キリスト者の集い ドイツ・ライプツィヒ

佐々木良子宣教師を支える会 会計報告 2016年8月～2017年1月

主に在って皆様の暖かいご支援を心から感謝いたします。

3月の帰国報告の費用としても使わせていただきます。

(単位：円)

収 入		支 出	
月額献金	1,479,500	宣教師支援金(11月～1月)	488,049
特別献金	270,000	社会保険料等	97,260
クリスマス献金	144,000	コンサート費用	85,738
コンサート席上献金	107,301	(ミニバザー費用含む)	
(ミニバザー売上含む)		ニュースレター1号発行代	18,799
雑収入(受取利息)	7	感謝献金	55,000
		事務通信費	2,870
		雑費	8,818
収入小計	2,000,808	支出小計	756,534
前月繰越金	3,216,368	翌月繰越金	4,460,642
合 計	5,217,176	合 計	5,217,176

献金者ご芳名 (敬称略・順不同)

月額献金

相原美枝子 朝位真士 朝位フミ子 厚母かね 阿部順子 阿部守利 阿部和子 池上恵子 石井泰子 石川徹 石川真知子 石崎孝司 糸魚川喜一 伊藤 愛
 伊藤いく子 伊藤君江 伊藤恵子 伊東みどり 伊藤祐子 井上 馨 井深裕子 上田美智子 上田光正 牛山輝代 榎本明子 榎本康治 大熊真弓 大橋 章
 大橋久美子 大淵美智子 岡崎 馨 小塩トシ子 越智香歩理 鹿郷雄通 片山まどか 加藤弥生 金木ケイ子 金子英市 金子栄子 金坂久子 金田佐久子
 川田裕生 川浪聖志 川浪麻理子 菅野 歴 岸田康子 北野節夫 北野順子 北野 信 北野 拓 木原恵子 奇 老花 久多良木和夫 久多良木志津子
 熊谷千鶴子 栗山照子 黒岩信生 黒澤龍吉 黒澤咲子 小泉 誠 河野有紀 国府田祐人 小林興司 小林信夫 小宮房江 齋藤悦夫 齋藤喜江子 齋藤佐代子
 栄 直美 相良佳子 相良佳子 佐久間弘子 佐久間文雄 櫻井淳子 佐々木 馨 佐藤節子 佐藤フデ子 佐藤 誠 佐藤保太郎 佐藤有美 佐野明子 澤田 武
 澤田直子 澤田大河 澤田拓生 部 清江 篠原照美 島田雅子 嶋 優子 島 隆三 島 静江 白井 均 白井昭子 神 和子 鈴木敏男 鈴木初子 鈴木信弘
 鈴木優子 関口 康 曾根邦彦 染野和美 高野加奈子 高島 毅 高島尚枝 高花富夫 瀧田茂子 田島俱子 蓼沼 貢 蓼沼百合子 田村久美子 辻浦健久
 都築英夫 寺村智恵子 鶴巢香穂利 鶴巢和徳 富田恵理子 中西絵津子 中村岩城 中村廣子 永井美智子 西村徹子 坂井教子 坂井太一郎 野村啓二
 芳賀慶治 原嶋和夫 平賀純子 深沢 修 深谷春男 深谷美歌子 福田芳雄 藤野洋子 藤本邦彦 藤本幸子 藤本三四四 藤本律子 藤森知子 星野 環
 細田多恵子 細野紀久子 堀江直子 樹本早苗 松丸香世子 松本幸子 皆川昌子 宮本和子 宮本清志 宮本峯子 宮本明美 明瀬真弓 村上俊英 室井信子
 物井恵一 物井ますみ 森 浩 森川頌子 森田聖子 森山和彦 八重樫幸栄 八重樫福子 柳川義也 八巻君子 山口スミエ 山口紀子 山崎広子 山下 誠
 山畑咲子 山本房枝 横内希久子 横山義孝 横山勝よ 吉田陽子 吉本真理 嘉本 保 劉 燦 和海豊子 渡辺敬子 渡辺すみ子 渡部裕子 和田洋子
 (団体) 荒川教会 亀戸教会有志 仙台青葉壮教会 教団東京教区東支区教師会 小松川教会恒励会 小松川教会婦人会 塩谷一粒教会
 清水が丘教会海外宣教会 日本キリスト伝道会

特別献金

青池直録 大熊真弓 尾崎二郎 オガワ アリオン 加藤悦子 金子栄子 金坂久子 神尾祐美子 小宮房江 汐庭直美 嶋本洋子 高橋みどり 竹井眞人
 西海満希子 深沢 修 藤谷正一 松永映子 三坂幸英 宮地多穂子 宮庄 博 村杉克己 室井信子 吉本宣信
 (団体) 赤羽教会 柏教会 亀戸教会 亀戸教会有志 京都復興教会

クリスマス献金

牛山輝代 相良佳子 佐野明子 鈴木信弘 瀧田茂子 辻浦健久 鶴巢香穂利 棟方千恵子 山根芳枝
 (団体) 浅草教会 塩谷一粒教会 清水が丘教会海外宣教会

事務局から

主の御名を賛美します。

ニュースレター「ライン河畔より」第2号をお届けできる恵みを感謝いたします。東日本では昼も夜も1℃、2℃、3℃と寒気に覆われてこの寒さはどこまで続くやらと思われた日々が、立春を過ぎて少しずつ穏やかな日差しになってきました。皆様におかれましては主の御守りのうちに豊かな歩みをなされていることと思います。いつも佐々木良子宣教師の主にある働きのために祈りと心からなるお支えをいただき、共に宣教の業に加わってくださることに深く感謝いたします。

先生の働きも間もなく1年になろうとしています。ドイツ生活が全く未経験の先生でしたが、ケルン・ボン日本語キリスト教会の皆さまの暖かいご配慮とご助力により、様々な新しい体験を日々なされたことと思います。「ライン河畔より」第2号は少し慣れてきた先生の実感が随所に出てきます。興味深くご覧いただければ幸いです。

3月には一時帰国され宣教報告で国内を巡回します。主のご栄光を共に拝したいと思ひます。スケジュールは3頁の通りですが、小松川教会では5日(日)夕礼拝と12日(日)礼拝説教及び午後には報告会を開きます。近隣の方々と良きお交わりができれば幸いです。

これからも心を寄せてくださっているお一人おひとりの上に主の恵みが豊かにありますようにお祈りいたします。

主に在って 2017年2月
佐々木良子宣教師を支える会

佐々木良子宣教師を支える会公式ホームページ

<http://www.ryokosasaki-missionary.com>

ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ

<http://koelnbonn.jp/>

ケルン・ボン日本語キリスト教会フェイスブック公式ページ

<https://www.facebook.com/koelnbonnjp>

*今年から佐々木良子宣教師を支える会FBは、ケルンボン日本語キリスト教会に合流いたしましたので、そちらをご覧くださいますようお願いいたします

連絡先 「佐々木良子宣教師を支える会」

会長 物井恵一

〒134-0081東京都江戸川区北葛西4-3-9

小松川教会内

送金先 郵便振替：00120-3-450845

銀行口座：三菱東京UFJ銀行小松川支店

店番463 (普通) 口座 0113856

*上記口座名義：佐々木良子宣教師を支える会 会長 物井恵一

*定期的支援 毎月一口1000円から・自由献金

佐々木良子ドイツ連絡先

Breslauer Str.26 50858 köln Germany

Tel : +49-(0)151-2910-6278

Email : r310130s@yahoo.co.jp